

(XX) 講演題目 (MS-P ゴシック:14 ポイント, ボールド) 日本語と英語の併記  
Title in English (Times New Roman: 14 points and bold face)

——(8ポイント 1行改行)——

金属 太郎<sup>1</sup>, <sup>○</sup>鉄鋼 太郎<sup>2</sup>, 中国 花子<sup>1</sup>, 四国 花子<sup>3</sup>, 岡山 県太郎<sup>1</sup> (12 ポイント)  
Taro Kinzoku<sup>1</sup>, <sup>○</sup>Taro Tekko<sup>2</sup>, Hanako Chugoku<sup>1</sup>, Hanako Shikoku<sup>3</sup>, Kentaro Okayama<sup>2</sup> (11points)  
<sup>1</sup>岡山理大・院工, <sup>2</sup>岡山大・院生, <sup>3</sup>広島大・工, <sup>4</sup>山口大・工 (MS 明朝 11 ポイント)

————(11ポイント 1行改行)————

1. 用紙・余白など

ここでは、概要の作成方法について説明します。

用紙のサイズは A4 としてください。左上の (XX) には、プログラム決定後の講演番号を (A01) のように入れて下さい。余白として、左右上に 20 mm, 下に 25 mm を設定してください。また、ヘッダーとフッターの領域には、何も書き込まないでください。

2. フォントなど

講演題目は、日本語と英語で併記してください。講演者は、日本字表記 (MS-明朝 12 ポイント) と英字表記 (Times New Roman 11 ポイント) の両方を示し、登壇者の前に上付きの白丸を付けてください。所属は、講演者と上付き番号で対応付け、フォントには MS-明朝の 11 ポイントを使用し、略式表示で書いて下さい。学生は「・学生」、大学院生は「・院生」と付記して下さい。

本文は、日本字に明朝体 (MS 明朝) の 10.5 ポイントから 12 ポイントの範囲のフォントを使い、英数字には Times New Roman の 10.5 ポイントから 12 ポイントの範囲のフォントを使ってください。また見出しは太字としてください。目的、実験方法、結果と考察、結果、考察、結論、まとめ等の項目の分け方は、執筆者の判断に任せます。また、英語で本文を書かれても結構ですが、題目など日本語との併記が求められている箇所は、それに従ってください。その場合、申込の講演題目等が英語ならば、英語表記を先に書いて下さい。

図の説明は英語で、フォントは Times New Roman の 10 ポイントとしてください。表自体の形式は自由ですが、キャプションは Fig. と同様 Table 1 などとし、書式も同じにして下さい。

参考文献がある場合は、本文中で [1], [1,2], [1-4] のように示し、文末の例に従って書いて下さい。

3. 提出方法

Word 及び PDF 形式の両方の原稿を提出してください。カラー印刷は致しません。ファイル名は「支部大会概要\_所属 (略式で)\_登壇者氏名.pdf」としてください。送信の際、Subject (件名) は「支部大会概要・所属 (略式で)・送信者氏名」を必ず記してください。

4. 締切など

概要は **8月6日(金) 必着** です。

送付先は [yoshimura-t@rs.socu.ac.jp](mailto:yoshimura-t@rs.socu.ac.jp) です。

資料準備の都合上、締切厳守のほど宜しくお願いいたします。

参考文献

- [1] T. Okayama and H. Yamaguchi: J. App. Mechanics, 54 (2011) 1041.  
[2] W. W. World et al: 'World Science' ed. by J. Smith, HU Academic Press, Okayama (2011) p.503.

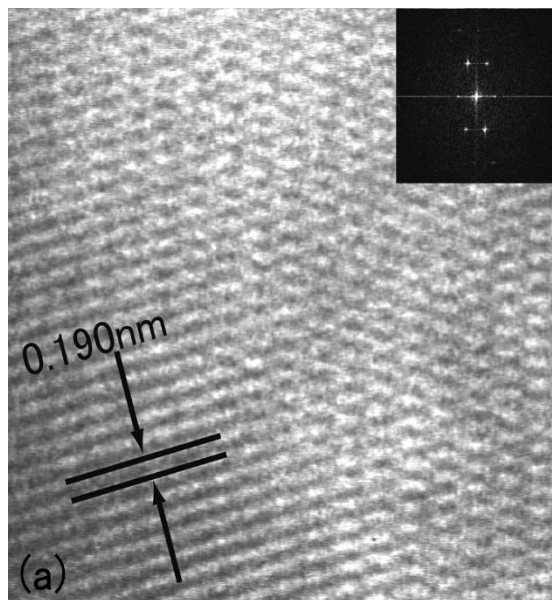


Fig. 1. Use Times New Roman 10 points font. This text box must make a group with the above figure. Letters in the figure should be large enough to be easily understood by the readers. Please use SI units for the data.